

○第91回プリオン専門調査会

日時：平成27年6月3日（水）10：00～11：30

場所：食品安全委員会 大会議室

議事概要：

1. 「スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓に係る食品健康影響評価」について
 - ・厚生労働省から諮問に至る背景、諮問内容、提出資料等について、事務局からBSE発生状況等についてそれぞれ説明が行われ、その後、質疑応答が行われた。
 - ・評価手法及び今後の審議の進め方について、座長から提案がなされ、評価手法については「牛海綿状脳症（BSE）対策の見直しに係る食品健康影響評価」（平成24年10月）の場合と同様とすることとされ、今後、起草委員が提出資料の内容を検討し、次回以降の専門調査会で調査審議を行うこととされた。
 - ・審議の結果、スイスで確認されたL型、H型とも異なる非定型BSEに関する情報について、厚生労働省に対し、提出を要請することとなった。

2. 「デンマークから輸入される牛肉及び牛の内臓に係る食品健康影響評価」
 - ・デンマークの評価書（案）について、起草委員を代表して山本専門委員から、また、事務局から説明が行われた後、審議が行われた。
 - ・審議の結果、デンマークに係る輸入条件に関する以下のリスクの差については、いずれも「あったとしても非常に小さく、人への健康影響は無視できる。」と評価された。
 - （1）月齢制限
「輸入禁止」の場合と輸入月齢制限の規制閾値が「30か月齢」の場合
 - （2）SRMの範囲
「輸入禁止」の場合とSRMの範囲が「全月齢の扁桃及び回腸（盲腸との接続部分から2メートルの部分に限る。）並びに30か月齢超の頭部（舌、頬肉、皮及び扁桃を除く。）、脊髄及び脊柱」の場合
 - ・評価書（案）の一部修正については座長一任とされ、修正後、食品安全委員会に報告することになった。

3. その他
 - ・EUにおける特定危険部位（SRM）の範囲の見直しについて、厚労省より説明があった。
 - ・OIEのリスクステータスの変更等について、事務局から報告した。

以上